

自営就農を志す “あなた”へのご提案

令和6年度版

～ 担い手育成協定制度 ～



島根県では
農業法人等で働きながら
キャリアアップして
独立・自営就農を目指す方を
応援します！

公益財団法人しまね農業振興公社

島根県農林水産部農業経営課

令和6年4月

県内外の自営就農希望者・農林大学校生 等

★協定経営体（研修受入先）の選定ポイント★

栽培品目、栽培方法（有機JAS等）、収益性、就農地域、居住・生活環境 等

担い手育成協定制度の協定経営体とは

自営就農者育成のための研修を以下により実施

- ◆年間を通じて農業を行っている
- ◆研修体制が整っている
- ◆研修生の受入実績がある
- ◆年間概ね1,200時間以上の研修が実施できる
- ◆原則2年に1人以上の自営就農者の育成を目標とする
- ◆自営就農者育成計画を作成する
- ◆就農後に就農報告を行う



協定経営体（研修先）による支援の例

- 知識、技術の伝授
- 就農計画づくりの助言
- 補助事業、融資の助言
- 市町等の担当者の紹介
- 生産資材等の共同購入
- 農地等の紹介（のれん分け）
- 販売先の紹介、共同販売
- 機械・施設等の利用 等

※経営体によって支援内容は異なります

実践的研修を通じたキャリアアップ

新規就農者の誕生！



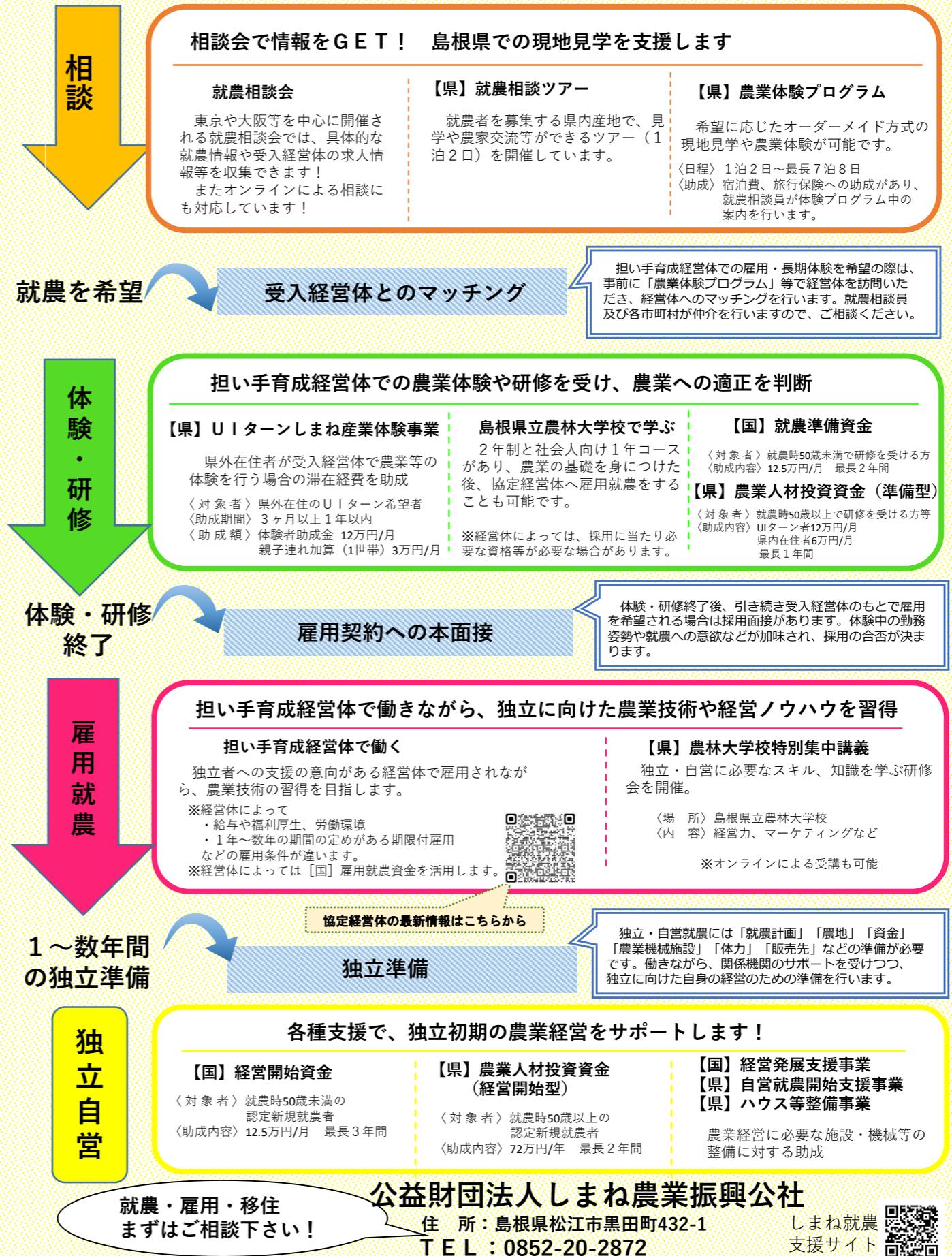
【協定経営体（研修受入先）への支援事業】

事業名	事業内容	助成内容	留意点
ハウス等整備事業	「水田園芸・有機農業地域研修」の研修生受入れに伴う、振興作物（アスパラガス、ミニトマト）の栽培に必要なハウス整備費を助成	県補助率 1/3 補助上限額 1,000万円	水田園芸・有機農業地域研修事業を実施する受入経営体に限る
自営就農志向者受入促進事業	研修生の受け入れる上で必要な施設、機械等の整備費を助成	県補助率 1/3 補助上限額 250万円	
研修生受入助成事業	「水田園芸・有機農業地域研修」の研修生に対して助成	3万円/人・月	水田園芸・有機農業地域研修事業を実施する受入経営体で、雇用ではない場合に限る

協定経営体の概要（令和5年度末現在）

市町村名	協定経営体名	主な経営品目（令和5年現在）
安来市	イオンアグリ創造株式会社	キャベツ、ブロッコリー、イチゴ、スイートコーン
松江市	株式会社由志園アグリファーム	牡丹、雲州人参、そば、南瓜、じゃがいも
	有限会社安藤農園 野津農園	メロン、ミニトマト、きゅうり、いちご 外 キャベツ、津田かぶ
雲南市	佐藤祐治	水稲（有機栽培）
	GEAR FARM	果樹（ぶどう）
奥出雲町 美郷町	株式会社アグリベスト	奥出雲農園：トマト 美郷農園：ミニトマト、スナップエンドウ
奥出雲町	農事組合法人中国牧場	繁殖和牛、肥育牛
飯南町	株式会社来島牧場	乳用牛
出雲市	JAIいずもアグリ開発株式会社	ぶどう、水稲、植物工場（葉物野菜）
	株式会社おかずくらぶ	きゅうり、カブ、大根、葉物野菜、神在ねぎ、スイートコーン
	神田農産株式会社	アスパラガス、きゅうり、葉物野菜、神在ねぎ、ブロッコリー
	株式会社勝部農産	水稲、大麦、大豆、あすっこ
	株式会社岡農産	ブロッコリー、タマネギ、飼料用稲、アムノン、水稲（主食用）
	玉木農園	野菜苗、ミニトマト、その他野菜
	株式会社GARNETGARDEN	ミニトマト
	大社観光ぶどう園	デラウエ、シャインマスカット、神紅 他4品種、ワイン用品種、サツマイモ
大田市	有限会社島根農場	繁殖和牛、肥育牛
	西谷牧場	乳用牛、繁殖和牛
	株式会社わなか	水稲、いちご、切り花（花卉）、メロン
	特定農業法人ファーム浮布株式会社	水稲（有機JAS認証含む）
江津市	石見銀山アスパラガス生産組合	アスパラガス（+アスパラガス生産組合が生産するその他の品目）
	香の宮F&A	有機野菜
	株式会社MOGMOG	水稲（飼料用稲を含む）、イチゴ
浜田市	有限会社ふるさと支援センターめぐみ	水稲、大豆、たまねぎ、施設野菜（ミニトマト、ピーマン、キュウリ 他）
	有限会社佐々木農場	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（ほうれん草） 他
	有限会社やさか共同農場	水稲、大豆、露地栽培（加工用トマト等）、施設野菜（ほうれん草、小松菜等）
	株式会社みうらファーム	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（ほうれん草、ピーマン、里芋等）
	株式会社三島ファーム	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（さつまいも、ニンジン等）
	株式会社小松ファーム	施設野菜（こまつな、ほうれん草等）、露地栽培（だいこん、ピーマン等）
	株式会社藤若農産	水稲、ぶどう、サラダごぼう
益田市	株式会社中下農園	ぶどう（ピオーネ、シャインマスカット、神紅）、大豆、水稲
	株式会社佐々木牧場	繁殖和牛
	有限会社アグリみと	イチゴ、ベビーリーフ
	株式会社松永牧場	繁殖和牛、肥育牛
	株式会社椋木畜産	繁殖和牛、肥育牛
	株式会社田原牧場	繁殖和牛、飼料作物
津和野町	澁谷陽平	施設園芸（メロン、トマト、ほうれん草等）、露地野菜（キャベツ、ブロッコリー、カボチャ他）
	株式会社LOCAL_RICH3in	デラウェア、シャインマスカット、ピオーネ、神紅
	農事組合法人京村牧場	繁殖和牛、肥育牛
隠岐の島町	株式会社だんだん牧場	繁殖和牛
浜田市 大田市 邑南町	楽天農業株式会社	有機野菜（ブロッコリー、サツマイモ等）

担い手育成協定制度を活用した 就農までの流れ



担い手育成経営体での雇用研修等により自営就農された事例紹介



出雲市 岩谷隼汰さん

就農のきっかけ	・高校時代のぶどう園でのアルバイト経験。														
就農までの主な経緯	<p>【島根県立農林大学校】 (H28.4~H30.3、2年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の勧めで高校から果樹専攻へ入学し、ぶどうを中心に果樹について学ぶ。 <p>【協定経営体での雇用研修】 (H30.4~R3.3、3年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林大学校在学中、農家留学研修の受入先であった協定経営体の「JAいずもアグリ開発(株)」へ独立就農を前提に雇用就農し、実践経験を積み重ねる。 <p>【就農開始】 (R3.4~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JAいずもアグリ開発株式会社」のリースハウス(約10a)を暖簾分けにより借入利用するとともに、親戚のぶどう園も取得して自営就農を開始。 														
現在の経営概況・主な販売先	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどうパイプハウス 約40a (苗木育成ハウス10aを含む) ・ぶどうの品種はすべてシャインマスカット(無加温)で、一部2重被覆栽培。主な販売先はJA。 														
研修で良かったこと等	<p>◆島根県立農林大学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確定申告に必要な決算書の作成等、経営管理に重要な農業簿記演習が役立った。 ・少人数の実習だったので、作業内容を予想し、準備すべきものを同級生と相談しながら自発的に段取りを考えたことが役立った。(自分で考え行動する習慣づくりが重要) ・面積は小さくても管理を任せてもらえる実習経験が有効だった。 ・ハウスの修繕実習が役立った。 <p>◆雇用研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が借り受けることとなるハウス管理を全て任せてもらえ、収量向上のための改善や工夫を試せたこと。 ・様々な人との人脈づくりができたこと。(部会活動等への参加) 														
就農希望者へ伝えたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・経営について学んでおくこと、就農に必要な資金の準備に早い段階から検討すべき。 ・施設の修繕等に予想外の費用がかかる等、資金繰りにも常に留意しなければならない他、気象の影響等による収穫期のずれへの対応が必要。 ・研修期間中から関係機関(市町、県、JA等)の担当者と関わっておくことが農地、資金、施設整備等の点で有効。 ・就農予定地の農地の条件(地力、排水性、障害物の有無等)を把握しておくこと。 ・栽培作物が違う農業者からも有効な情報等が得られることもあり、積極的な交流、コミュニケーションづくりが望ましい。 														
研修先(協定経営体)の概要	<p>JAいずもアグリ開発株式会社</p> <table border="1"> <tr> <td>代表者</td> <td>代表取締役 石飛英彦</td> <td rowspan="2">研修可能品目</td> <td rowspan="2">ぶどう、水稻、野菜(養液栽培システム)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>出雲市今市町106-1</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>常雇用 90人 臨時雇用 4人</td> <td rowspan="2">研修内容</td> <td rowspan="2">栽培技術研修(実習) JAと連携した経営指導 独立自営就農に向けた相談(就農計画作成支援等) GAP取得 等</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>研修可能な品目</td> <td>ぶどう 170a 水稻 41ha 植物工場(野菜) 90a</td> </tr> </table>	代表者	代表取締役 石飛英彦	研修可能品目	ぶどう、水稻、野菜(養液栽培システム)		所在地	出雲市今市町106-1	従業員数	常雇用 90人 臨時雇用 4人	研修内容	栽培技術研修(実習) JAと連携した経営指導 独立自営就農に向けた相談(就農計画作成支援等) GAP取得 等		研修可能な品目	ぶどう 170a 水稻 41ha 植物工場(野菜) 90a
代表者	代表取締役 石飛英彦	研修可能品目	ぶどう、水稻、野菜(養液栽培システム)												
所在地	出雲市今市町106-1														
従業員数	常雇用 90人 臨時雇用 4人	研修内容	栽培技術研修(実習) JAと連携した経営指導 独立自営就農に向けた相談(就農計画作成支援等) GAP取得 等												
研修可能な品目	ぶどう 170a 水稻 41ha 植物工場(野菜) 90a														



浜田市 門本尚久さん

就農のきっかけ	・広島県内で看護師として働きながら小規模の野菜作りを体験し、農業へ興味を抱く。(もともと「物づくり」をしたいという気持ちがあった。)														
就農までの主な経緯	<p>【協定経営体での産業体験】 (R3.10~R4.9、1年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市内で開催された産業フェアの相談をきっかけにUターンを決断。浜田市からの紹介で協定経営体の(株)小松ファームで野菜栽培を体験。 <p>【島根県立農林大学校】 (R4.10~R5.9、1年間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の基礎知識や就農方法、経営等を学ぶため、県からの勧めで短期養成コースに入学。地域研修制度を活用してオンラインによる座学を受講。 <p>【就農開始】 (R5.10~)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)小松ファームのハウスや機械等を借り、葉物野菜栽培による自営就農を開始。 														
現在の経営概況・主な販売先	<ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜(小松菜、水菜等) 11a、露地野菜畑34a(大根、人参) ・商品の6割は(株)小松ファームを通じて販売し、残りは地元の青果市場、スーパー。 														
研修で良かった点等	<p>◆産業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培の素晴らしさや魅力がわかり、自営就農で取り組む価値のある農業として実感できたこと。 ・播種作業に始まりハウス管理まで任せてもらえ、自信に繋がったこと。 ・研修先の支援により施設・機械整備に伴う大きな負担がなく、販売先の心配もなく就農できたこと。 <p>◆島根県立農林大学校短期養成コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農に必要な基礎知識や技術、経営方法等を修得でき、就農後でもわからないことがあれば大学校へ聞きやすいこと。 														
就農希望者へ伝えたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは「わからないこと」がわからない状況だった。農業をやるためには基礎的なこと(植物生理等)をしっかり理解しておくことが必要。 ・何事にも興味、関心を持ち、自ら積極的に調べる等の姿勢が必要。 ・研修を受ける前年に前職の収入(給与や退職金等)があると、それに応じた住民税がかかり、研修期間であっても国民健康保険料、国民年金の掛金を納付しなければならないことに留意が必要。 														
研修先(協定経営体)の概要	<p>株式会社小松ファーム</p> <table border="1"> <tr> <td>代表者</td> <td>代表取締役 小松原 修</td> <td rowspan="2">研修可能品目</td> <td rowspan="2">施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 露地栽培(だいこん、ピーマン等)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>浜田市弥栄町小坂332-2</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>常雇用 8人 臨時雇用 6人</td> <td rowspan="2">研修内容</td> <td rowspan="2">栽培の技術指導 有機JAS認証、GAPの取得指導 経営面の指導 (農林大学校特別集中講義も活用) 独立自営就農に向けた相談</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>研修可能な品目</td> <td>施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 1.11a 露地栽培(だいこん、ピーマン等) 90a</td> </tr> </table>	代表者	代表取締役 小松原 修	研修可能品目	施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 露地栽培(だいこん、ピーマン等)		所在地	浜田市弥栄町小坂332-2	従業員数	常雇用 8人 臨時雇用 6人	研修内容	栽培の技術指導 有機JAS認証、GAPの取得指導 経営面の指導 (農林大学校特別集中講義も活用) 独立自営就農に向けた相談		研修可能な品目	施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 1.11a 露地栽培(だいこん、ピーマン等) 90a
代表者	代表取締役 小松原 修	研修可能品目	施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 露地栽培(だいこん、ピーマン等)												
所在地	浜田市弥栄町小坂332-2														
従業員数	常雇用 8人 臨時雇用 6人	研修内容	栽培の技術指導 有機JAS認証、GAPの取得指導 経営面の指導 (農林大学校特別集中講義も活用) 独立自営就農に向けた相談												
研修可能な品目	施設野菜(こまつな、ほうれんそう等) 1.11a 露地栽培(だいこん、ピーマン等) 90a														